我が

砲兵隊猛擊開始(海南島)

(日曜土)

【東京國通】複雑多難を極い、昭和十四年を回顧しその施昭和十四年を回顧しその施昭和十四年を回顧しその施昭和十四年を問題しるの施度と、昭和十五年を期待する國民に應へるの決意を固め、遠藤書記官長をしてこれが準備を進めしめてゐたれが準備を進めしめてゐた。

で、 と見られてゐるが、 議會は のないことでその首相談の のないことでその首相談の のないことでその首相談の が表は各方面から非常な注

委員長擴點行營

力するやう既にこれを懐柔 したので、虚漢は目下龍雲 に對し雲南軍を廣西に出動 ともあるやう極力勒設して はしめるやう極力 が設して

明春昆明に設置

雲南中央化に躍起

進車せしめ南寧森回路 的に雲南軍三個師を監

【上海廿二日 受國通】 電慶本電によれば電慶政府は世中日雲南省政府主席龍雲を軍事委員會委員長昆明行營主任に任命した、重慶と昆主任に任命した、重慶と昆主任に任命した、重慶と昆って作の一つとして関る注目

營主任に任命 龍雲を昆明行

ものとみられてゐる

「東京関通」政府は十一日 ・ 大会一時首相官邸に東京八 ・ 大会一時首相官邸に東京八 ・ 大会一時首相官邸に東京八 ・ 大会一時首相官邸に東京八 ・ 大会、郡新聞が一(東京朝日)日 ・ 大会、郡新聞が一(東京朝日)日 ・ 大会、郡新聞が出った。 ・ 大会、郡が開が出った。 ・ 大会、郡が開が出った。 ・ 下方の相、南木滅相、田海伊之助(同 ・ 京百日の大会談 ・ 京百日の大会談 ・ 京百日の大会談 ・ 京田高相、野村外和、小 原内相、南木滅相、四中齊(國 ・ 京田の内外重要 ・ に當面の内外重要 ・ には、 ・ に

注の例り入へはの

代表に協力要望

加へ來つたが、緊迫せる時局の要請は生満州國産業開發計畫遂行に對する側面的

重要物資の需給を関

に解消することとなる、同統制は重要産業統制法以来の重要方針であり、その運營成果に對しては多大の注目が拂はれてゐる、一般の趣旨から見てその及ぼす影響は相當廣腦園に亘るものと蔑想される、この統制實施に當つては配給の統制は各重要物資別に統一下法案の審議を進めてゐる、同統制法は滿洲國における重要物資全般に亘つて適用せんとするもので、然もこれが精給調整のためで選に應じて生産致量の指定、制限或ひは生産の禁止にまで及び更に配給部門に亘り規制を加へんとするものでありその規模、立心要に應じて生産致量の指定、制限或ひは生産の禁止にまで及び更に配給部門に亘り規制を加へんとするものでありその規模、立心要に應じて生産致量の指定、制限或ひは生産の禁止にまで及び更に配給部門に亘り規制を加へんとするものでありその規模、立心要に應じて生産致量の指定、制限或ひは生産の禁止にまで及び更に配給部門に亘り規制を加へんとするものでありまれが特給調整のためで、然もこれが開始調整の決定を見目で、本のであり、これ等は新統制法の資施と同時、立つ、大が、緊迫せる時間の要請は生産設備の面よりのみの統制を以てしては時間に即應して必要物資の需給を調節するを得な加へ来つたが、緊迫せる時間の要請は生産設備の面よりのみの統制を以てしては時間に即應して必要物資の需給を調節するを得な加へ来つたが、緊迫せる時間の要請は生産設備の面よりのみの統制を以てしては時間に即應して必要物資の需給を調節するを得な加へ来つたが、緊迫せる時間の要請は生産設備の面よりのみの統制を以てしては時間に即應して必要物資の需給を調節するを得な加へ来つたが、緊迫せる時間の要請は生産設備の面よりのみの統制を制定しては多大の注目が挑けれてゐる

(香港北一日登園道) 重慶 本電に使れば廿日日本空軍 大撃した、また沙市来電 に依れば十九日午後一時沙 に依れば十九日午後一時沙 に依れば十九日午後一時沙 に依れば十九日午後一時沙 に依り大損害を蒙つた

崇陽西方で包

たいなり線順数三百九 りびに なほ海紋は大正元年の建 ので、海靖と命名された

談話を發表

芬蘭砲で

捕獲中の二軍艦

南方地區においてわが鴨澤南方地區においてわが鴨澤南方地區においてわが鴨澤南方地區においてわが鴨澤南方地區においてわが鴨澤山南部除の挟撃を受ける。 八日夜平より積々西方に向八日夜平より積く西方に向大日夜平より積く西方に向

十八日夜半より十九日拂聴 良れな末路をさらしてゐる 哀れな末路をさらしてゐる

へてゐる、わが各班

十九日拂贈

る追撃戦を横行、職果を贈

日記者團ピ會見

の得たる職果道業死體三千九日までの鴨澤、岡内部隊六日までの鴨澤、岡内部隊六百里に十二日より十九日までの鴨澤、岡内部隊

在支英官憲

あるの

で外事課長は

0)

生產、配給全般。

發行所 n & D 制备行 AAA 特 他 医一

髙

社会试株常工座特洲滿、天奉 を訪問 四時半外相官邸に野村外相 四時半外相官邸に野村外相

駐日佛大使

日日

口

指子江下流一部閉鎖解除 については去る十八日西 については去る十八日西 原型局長より通達を受け たが開放の條件、事情等 につき更に詳細なる説明 を聴収したい

外相訪問

重大親し取敢へす哨海區2 であり米常局はこの事件も

宮內省外事課長

を空襲

六順である ・一順、海靖は明治四十一 ・一時、海靖は明治四十一 【東京國通】宮内省式部職 紫介大佐が任命された、同 紫介大佐が任命された、同 紫介大佐が任命された、同 大佐は曇に高松宮殿下御外 遊に御伴申上げ又鷹藤、永 野雨全権の陥員として軍縮 の際員として軍縮 の際員として軍縮

事據點を猛

されたこの事件はパナマ

吉太三氏氏氏 (河)同

間

間の

お公用

更三、五五四

乾寫眞機 商聯加盟 電話(3)二三九〇二六

日

態よ日本では政治学節が来る、ひとつ政人の意氣を 來る年

見たいもの

方面で輝かしさを

往來

かつた かつた 無為にして化すなんてこと …… 共感や同情まではいいが

佛の商船停船を

電氣消費 理化に就て 0 出身の内政部長馬蟾岳と短漢を重慶に呼び寄せ、雲海を重慶に呼び寄せ、雲海軍司合成

講|市座|民

EG3

無は電気でありて明るさは一量一〇フットの関るさは一量であり、此處情のなど、一量であり、此處情のなどは一量一〇フットのでありて、一量であり、此處には、一量一〇フットのであります、地處に、は必要なのであります、大人のであります。と、一量では、一量一〇フットのであります。と、一量では、一量であります。一個であります。

t

あります。端的に中 が、東は共實行にあ が、要は共實行にあ が、要は共實行にあ

世の様と手に担丁家 を以様上手に担丁家 であります。 を以様上手に担丁家 であります。

ラデオの如きも二〇から四 でない線注意して無駄に使用 総本るだけ消して無駄に使用 総本るだけ消して無駄に使用 総本をはいます。 とは質空管の な の使ひ方

米官邊重大視 ラヂオの無駄 題していたゞき

も之を集績すれば多量の電 運動に呼應し、政府、協和 運動に呼應し、政府、協和 各位の一寸した電氣の節約 をなる」の譬の通り需用家 となる」の譬の通り需用家 かを掛けて精製し、且手敷 を掛けて配給された石炭の を掛けて配給された石炭の 認識せられ、金橋の魅力でれても太運動の極音を長くりましたから、市民に終か

卅一日迄

| 案天に於て委員

は、 、との運動は迷に拓植委 、との運動は迷に拓植委 、との運動は迷に拓植委 、との運動は迷に拓植委 、との手によつて着々進め れ大連、瓦房店、大石橋、

(=)

も見えない始末、ラッシュー 無煙と混じて行々は一間先 平から深い霧が立ちこめ、 王の前日廿二日の國都は夜 王の前日廿二日の國都は夜

儒家学としてその他の出版 書事業としてその他の出版 る、尚雑誌滿洲經濟は四六 る、尚雑誌滿洲經濟は四六

の他同檢索で檢學されたもったが、生憎響波網に引り掛

者 ドン〈叩き「俺は司法部 日星しい獲物もなく終了し たが、廿二日午前三時頃朝 たが、廿二日午前三時頃朝 たが、廿二日午前三時頃朝

二七刑事四名窃盗容疑者

布だけを奪つて逃走を闘つ

六名である

一大と被害物件を預つて二、 一大と被害物件を預つて二、 大と被害物件を預つて二、 大と被害物件を預つて二、 大と被害物件を預つて二、 大と被害物件を預つて二、 大と被害物件を預つて二、 大と被害物件を預つて二、

様に注意した所係官に喰っ 様に注意した所係官に喰っ 検束をした、この者は興安 検束をした、この者は興安

トラが副産物

一齊檢索閑散

が凍てついた車道を右に左興安大路を寄行中の同署員

てゐるので不審に思ひ「嘘」 を所が苦力風の滿人が立つ た所が苦力風の滿人が立つ 生た所が苦力風の滿人が立つ 生た所が苦力風の滿人が立つ 生た所が苦力風の滿人が立つ 生た所が苦力風の滿人が立つ

に骨を埋めよ

警察艦下各署總動員の一審 全市に亘り取行された首都 全市に亘り取行された首都

・
 は、関係方面に継任挨拶の
 は、関係方面に継任挨拶の
 は、関係方面に継任挨拶の
 は、関係方面に継任挨拶の
 は、関係方面に継任挨拶の
 はたがされることになつ
 はを招待盛大な晩餐會を催た宗光養氏と共に十八日来
 は、関係方面に継任挨拶の

風景』

北口から脱

寢臺券の發賣 時間を繰上げます

批判し、正しい経済の上に立つ

批判し、正しい経済諸問題 としてこの程資本金五萬國 としてこの程資本金五萬國 (全額拂込)をもつて鴻洲

電いしめることとなって が完の大家をして編輯 所の大家をして編輯 が出と提携し、日満年 での大家をして編輯 は設立と同時に現在



氣持は漫遊だ

渡歐を前にして

鮎川總裁の談義―

からりで神の一十

改断

ト大會を開催、全世界の一大会を開催、全世界の一大会を開催、全世界の一大会を開催、全世界の一大会を開催、全世界の一大会を開催した。

長の身を護る

ら下降をし初めたではない長機は猛烈な火焔を吹きつ 「しまつた」と西原費

の既は雲上

無して出發したのであつた、 七月十二日の事であつた、 七月十二日の事であつた、 七月十二日の事であつた、 七月十二日の事であった、 七月十二日の事であった、 七月十二日の事であった、 七月十二日の事であった、 七月十二日の事であった、 七月十二日の事であった、 七月十二日の事であった。

中国、E 士六の混 ・ E 士六の混 ・ E 士六の混

見論いかない

○見まか給金に浦絶を上の大部間と突藤間上、に、 ・ はなる ・ は、 、 は、 、

戰友教護 血透療となり

等兵は「何のこれしき」と の重傷を打ち忘れ血達層と なつて自動車を運動、救護 に赴かんとした併し齢りの 重傷に部際長が押し止め瀕 く病院に救容するや、自己 も任務の報告をなし、その 介れてなほ已まぬ旺盛なる かれてなほ已まぬ旺盛なる

【東京四通」鮎川滿菜總数 氏は、丸く細い感じのする 宇文学院 (東京四通) 鮎川滿菜總数 氏は、丸く細い感じのする 宇文学院の歌洲目ざして戦時 身體をソファにうつして 東京 (東京四通) は、大外國旅行をするのは、 といひ「寫眞……」をといた「本版ののことである、 いオカッパをゆすぶり乍ら (東京) 通来を入れるといなは旅行道具をトランクに 1スの上に薔蕎と竹を生け (東京) 連續 ラヂオ 小銀 (東京) 11 (東京) 12 (東京) 13 (東京) 14 (東京) 15 (東京) 16 (東京) 17 (東京) 17 (東京) 17 (東京) 18 (東京) 御希望者は至急

場外取引を嚴禁

大臣より指定せられたる新 京特別市行政国域内に於ける中央創資市場法第六條及 場取扱品を中央創資市場法第六條及 場取扱品を中央創資市場を経 により中央創資市場を る同市場も住吉町に市場内 高間市場も住吉町に市場内 配給する生鮮食料品の一元 配給する生鮮食料品の一元 配給する生鮮食料品の一元 る同市場も住吉町に市場 假施設を以て開業せられ 日上 さん冗費節約 キングの女給

事務員募集

新京石

た騎絕を市及け新部

東京 京大路陸軍官舎一〇一號の 京大路陸軍官舎一〇一號の 京大路陸軍官舎一〇一號の 日宅で選に死去、享年二十 一日午後六時五十八分順 一一日午後六時五十八分順 一一日午後六時五十八分順 一一日午後六時五十八分順 一一日午後六時五十八分順 一一日午後六時五十八分順 保養は履騰書持参の上本人來職有9なし 事務に經驗有る方 事務に經驗有る方 事務に經驗有る方 新京出 張 所 港野水道工業株式會社

配車係 一名(男と 一、高等小學校卒業以上の學力を有 達し市内地理に明るき方 一、高等小學校卒業以上の學力を有 一、高等小學校卒業以上の學力を有 一名(男女を不問)

時迄に來訛有り 有し國語會話に勝

女給大募集 國都職業紹介所 新京永樂町四ノ五 ラクシー 電話(3) 二五二五香 チュッの

英週文刊 學習號 發 賣 中

マンチュリヤ 製養行所新京八島通三二一 製養行所新京八島通三二一 清州國の映 雷事案……日 高 界 清州國の製 高界膜望…田中鐵三郎 清別國文化。同答………… 一 高 紫 清別國文化。同答……… 一 一 高 紫 ニウス社

全滅唯一の デーリーニウス責任編輯 マンチュリヤ 短篇小説「選人少女キッサ 内容目次の一部

三中井。 商品券

電話代表番號開設

会般當組合の電話は 開設期日十二日 御通知 四一一一 石炭販賣組合一十二日 表番號を左記の

急

明店に付き女中さん四名入門店に付き女中さん四名入 吉田屋旅館別館

◆江戸趣味小物玩具陳列五階 ◆お座敷お臺所用品陳列五階

◇商品券賣場 の商

でその飼疑を取調べ中であ 、富夜の獲物としては浮 、高での獲物としては浮 和贈署 同場では満件もなかつたが、物盗容疑件をなかったが、物盗容疑件をはい獲物としては一件もなかったが、物盗容疑 方同人の同け出に對し不審で犯人檢擧に當つたが、一で犯人檢擧に當つたが、一

東京日本橋本店を始め新宿、銀座が大阪 神戸、高松、札幌、仙臺、京城各支店共通

讀者優

待割引努

讀

者優待

割引券

新京日日

新聞社

H

新聞社

銀座キネマ

1より開館

力论

色紙(色紙入付)

世十二十五九九圓 五九七圓五十十三 1圓圓五百圓簽錢十

女電影院 (永春路六三號)

▼ 変染かつら(完結篇) △ 大船作品、浩三とかつ被は結ばれるであらうか、物語りは間をした浩三を追つて敷線にまで展がり、再び愛染質のかつらの木の下に二人を結ばせるまでのお涙頂質のかつらの木の下に二人を結ばせるまでのお涙頂質のかつらの木の下に二人を結ばせるまでのお涙頂質のかつらの木の下に二人を結ばせるまでのお涙頂質のかつらの木の下に二人を結ばせるまでのお涙頂質のかって販やかな助演陣、長春座廿二日封切るあって販やかな助演陣、長春座廿二日封切る

情報 (東二馬) (東二馬) (東二馬) (東三馬) (東王) (東王) (東王) (東西) (東西) (東西) (東西) (東西) (東西)

は心身の演集とする満年で原料とする満興産業の負ち 人絹の製造過程を描 人絹の製造過程を描 人絹の製造過程を描 人絹の製造過程を描

輝く皇継三千六百年を迎へるに當り満映文化映畫課では、一般満人大衆層に日本の飼の姿を紹介し日漸二徳一心の意義を認識させようと日本紹介の巨篇シリーズを製作する全六卷もので、これが守る全六卷もので、これが明神されてゐる、その内容は左の通りで、これが明神されてゐる、その内容は左の通りで

の雲井東

ある。第三號)

木藤操の

華北電影公司 華北電影公司 常立總會 開催 北京廿一日發國通 日滿 として華北の映畫変中の上版 (本京廿一日發國通) 日滿 として華北の映畫製作融給 (本) は (本)

日本の姿を紹介

巨篇シ

リー

滅峡文化映書課で製作

機結して來たかを描いかに神を中心と がいかに神を中心と 相言、今日まで大和。 は田因を聖地高千穂

新春の御用

印

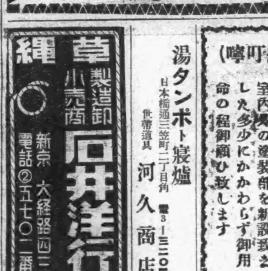
豐富格安

1-

流人映畫館組合 市内の減人映畫館大安、園 市内の減人映畫管業組合を結 影院經營主はこの程新京特 影院經營主はこの程新京特 記されたり組合長大

数学組の辞

2五〇一一条



湯夕 第4 河 三笠町二丁目角 一笠町二丁目角

原本館西側置2 二二七九番 命 からず御用

化した御座敷 節の御料理

へ店當は料材語重御の月正お通年 目丁一町枝ケ梅 六三四六(3)話電



限を繋がて、い

てゐるのであ

捨てくおい

場

The same

たいらんで、背つた時にからんで、背つた時にして敵――原田ののにして敵・一原田の

版に罪されてきてゐるの でふさがりさうな眼を、

『この身體が……身體さへいたが唇を咬んで堪へると

を疊に突き刺して、汗と かけて、それを杖に、尖 がけて、それを杖に、尖

で告いてみた。 を吐いてみた。 を吐いてみた。 を吐いてみた。

で、自分で安静に、だが、 で、自分で安静に、だが、 面と、汗と、體と、双とが順 の中で、ぐるぐる廻つてぢ でとしてゐられなかつた。 個へる手で、原田につか まつて眼をとぢて、全身に

の刀法もなかつたが敵が、であつた。狂的にぶつかつであつた。狂的にぶつかつであつた。狂的にぶつかつ

近

彦

外經濟電報 前場 前場

阪棉

体 在

(野れる――) (野れる――) (斃れる――)

血が原田の顔へ、

無駄足をふんだ土方歳三が 触げ着けた時には、池田屋 は血の霧がたちこめて、勇 が、縁士を呼び集めやうと

まつたく、恐ろしい劍氣 たつた、その劍氣こそは、 今白刄の中を馳けまはつて 六五月服 本大阪線布 一月月服 休 本 品 市 况 東京入鍋

值

22日より25日迄開放50セン 大週廿六日より 暁きに歸る 早

ほを行く武士 12.09 3.47 7.25 まん さ 12.09 3.47 7.25 別類 な 一座 1.28 5.06 8.44 元組修/変染かつら 10.30 2.08 5.46 9.24 10.44

北二日より北八日迄 一圓均一 次週新春封切 「慶 瀬次喜多大陸道中記

の價

雕 嵩 大 會

を行く武士い座

11,30 3,00 6,40 12,30 4,10 7,50 10,00

11,55 3,53 7,11

戀

峠



福

親爺三重奏

廿一日より 廿五日迄

祭茶

36

二十日より廿五日まで 八十錠均一 大週廿六日封切 江戸育ち八洲大狗 涙 の 小 船 館 供 養

からした二階の情景の階 しんッ、と、手にある双鐵 ー愛刀の虎徹が、强い震動 を自己の心臓へ送る度に彼 を自己の心臓へ送る度に彼

(日 曜 土)

血煙りをあげて作れたのは 事實だつた。 『おツ、沖田一!』 原田左之助が、吻ッとして、慈魂の驚を洩らした。 ばたーーと、沖田が朽木 倒しに倒れてしまつた。 『どうした沖田ツ』 たっした沖田ツ』 を振つた。 『どうした神田が、神田を土のや

銀座士李

李京株式(短期) ★東京株式(短期)



最後の戦闘機

着

大河内のでかんしよ侍 千惠巌の初姿人情高 阪 妻 の 赤 垣 源 臓

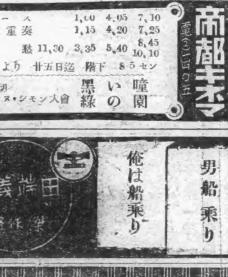
1,45 4,48 隊長ブーリバ 12,00 3,03 6,06

朝日空

七大五當 本先中當 六五四三二一二十八月月月月 4 月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月日日

月下。步哨線 な妨





喧闌 いの

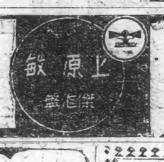
 人
 1,00
 4,05
 7,10

 奏
 1,15
 4,20
 7,25

 愁
 11,30
 3,35
 5,40
 8,45

 10,10





築地 残 明 物 石町 名 月 赤 道 城山









札付特價大賣出し 電話②三二八一番



商店聯合景品附大賣出 世帶道具加加蘇陶器 逐金逐品自由

古本買入新智職を

品類 大連市吉野町一〇〇番地 話 2222 九五二一 を六一六 九六六三 六九四四





用として經濟的經便なり の附着せる機械器具の御 上程可決された、 ・ は今回倍額増数 本値を一億圏とする。 なり廿二日の関務院会 なり廿二日の関務院会 なり廿二日の関務院会 なり廿二日の関務院会

総合を開いてこれ で構造額の二倍ま

研究機關を設置する等、行 をなし以て開拓政策に合らし 開拓地の巡回視察に含らし 報管、農民生活、農村建設 計畫等の綜合的實踐的研究 計畫等の綜合的實踐的研究 をなし以て開拓政策に一層 相算完整を期する開拓联の 相類完整を期する開拓联合

十二月廿日とし期限前に おいてもその全部又は一 で十二月廿日とし期限前に が十二月廿日とし期限前に かられている。

取極めを行ふ筈である 職別機働としては今後新 開拓政策に處して開拓闘 が後間の再張化で企圖さ たる開拓闘 が、先づ主

は吹き飛ぶような光明ある兩國國係が展開ないて野村大臣とグルー大使との間に南國家が現實に執られるかについてはなほ會談をが現實に執られるかについてはなほ會談をが現實に執られるかについてはなほ會談をが現實に対して、進展の見るに對して明村大臣とグルー大使との間に南國

の公債

圓を發行

(日 曜 土)

皇太子殿下

御六回の御護辰を迎へさせらる

【宮内省御貨下げ】

對處

いて可決を見、更に訓練本部離偏事務開拓機關の橫屬 ・ のいるり、明年一月一日 と期して實施する開拓事務連 ・ で変して實施する開拓事務連 ・ で変して實施する開拓事務連 ・ で変して實施する際向の下

當

局談

本要綱の登表を行ひ、割捌的日満開拓國策の全貌を顯すに至り、満洲國政府では開拓政策基本要綱始せられてより實に一年、遂に廿二日の日滿南國政府關議に最後の審絃を終了、日滿南政府同時に秩序建設の礎石を形成せんとする滿洲國の早急開設に費する日満開拓國策は關係各機關において檢

【頁二十刊夕朝紙本】 m # D 設行所 金雪 紅葉 S & 17-

新京京等市区/ 新京京日日新聞社 新京日日新聞社 新京日日新聞社 東京日日新聞社 東京日日新聞社 東京田日新聞社 東京田田新聞社

· 吉川商 本語版 樣 甲板

▲東亞新秩序建設

要綱

ノを酒清本日的表代ふ合

イン政府はサー日アルギ 日程放を要求 員釋放を要求

に間グスに月正お柄節時

酒専門の西村へ

新年の御田酒は

んで皆様の御用を御待ち申して居る

お買上五圓毎に一枚

(日曜土)

部の解緊飛行場の敵機をも常の荒骸大編隊は湖南省南陸の荒骸大編隊は湖南省南

武漢周邊地區

部隊はわが積極的

大郴縣飛行場空爆

るものと雅想さ

政 では、大大田一田 である、 というでは、 大田 である。 というでは、 大田 では、 大田 では、 大田 である。 というでは、 大田 では、 大田 である。 というでは、 大田 では、 は、 大田 では、 大田

敵二萬五千挾擊

議會ける開かる

事變處理中心に活潑

說

事變下第三

D

H

中における鳥鳩徹路

湖口東北方

最近における米穀精給問題、管理の便受易省設置問題、管理制度の改革等懸索の財政經問題、管理制度の改革等懸案の諸問題、管理の便受易省設置問題、管理の應案等も政府とこれに伴ふ英米ッ聯等の職場たるべくその前途逆路上の優楽等も政府とこれに伴ふ英米ッ聯の態度方針について質量の度度方針について質量の

の感謝を捧げるさいの大臣は調西にない大臣は開西になりの本語であるがいるは我々ないの事例の事例の事例の事例の事例の事例の事例の事例の表示には我々ないのでは、

親衛縁長との間に正式調

と訪伊中のヒムラー

海で爆沈 ゼナウ號

> 至十一日 自十一日

衛縁長は右側印後ベネチアを丁した、なほヒムラー舞

冬季攻勢全面的に崩壊

をして注目されてゐる として注目されてゐる證左 の工作を企圖してゐる證左

最近の歐洲職局につき継続管にムソリーニ首相を訪問

ルリン障選の途についたを逃げ、同夜ローマ出發べ

た出發、本國に向ふ途中バー六○順)は去る十月二日

船がナイゼナウ號に一八

米陸軍に防空

佛國政府黃書發表

イツにある

の責任は

多寳灣城内敗敵を

が拒否したので、英佛は

正式調印終了

れたチロール在住ドイツ人伊爾國政府間に過般締結さ

獨逸人移住協定

に至ったと述べてゐる

進しつよあるが、ウッドリ 能しつよあるが、ウッドリ

本部を新設

などでを格本数 **與彈が發見され爆沈陰謀** が劈機率仕圏員約百名を 企てられてゐたことが發見 む策容は溺死乃至爆死し 移住民の荷物から焼の九二嶋)業客中 リガでは種々の味

白和國境に要塞 西部鐵壁化に邁進 では他く迄守勢を持し東歐 では他く迄守勢を持し東歐 では他く迄守勢を持し東歐 では他く迄守勢を持し東歐

るとなつてゐるが、フラン 江閉鎖一部解除はフランス 近別針一部解除はフランス 佛國で大歓迎

時局下生産力 職際とするところである 動質にそれと開始する等 が更にそれと開始する等 が更にそれと開始する等 動像に関係のある諸君の 急郷なき意見を承りたい これに對し西尾末腹

監迫しついあり敬婦既に百(瀬口東方州キロ附近)に

ガーエート いて左の朝く述べた いて左の朝く述べた

聯歲

景品附大

賣

用高級

お正月玩具さ 五階ギャラ

二民主義の理論

らにはこの上な

の源は即ち不平等條約である。この苦痛 る。更に弟たるべき諸君は 見に代つて憂を分ち見を助 けて奮闘し、不平等條約で 意となることが出来 こそ中國と日本とは初めて こそ中國と日本とは初めて こそ中國と日本とは初めて こそ中國と日本とは初めて こそ中國と日本とは初めて るのである」この一節に説 を助 二つの講演は恰度 を助 二つの講演は恰度 を助 二つの講演は恰度 をして 共をとつてをりた して 共をとつてをりた といふ一個の信念 をしいふ一個の信念 といふ一個の信念 といふ一個の信念 といふ一個の信念 といる一個の信念 といることは であります。既 といる一個の信念 といることは であります。 にと が漸次極度地の地 にと があためには であります。 のであります。 のであります。 にと があれるために にと があために にと があために にと があために にと があために にと のであります。 のにと があために にと があために はなられるためには 職議容共時代に漫表 ・ と思ふのであります。 こつの講演は恰度孫

外交上に於て聯絡出来ない に先づ日本と難絡してし かる後露園と職絡してし かる後露園と職絡してし 既に考へつ 中日合作

う。中日露は國體相同じからざるも外変は外変、國體 は國體である。民生主義の 中國と共産主義の
国際とが 外交上聯絡することか出来 ると同様に、日本も露園とが 無意味である。これ う。中日露は國體相同じか することが出來てその楽制 することが出來てその楽制

うなのは常然で民國六年のの處理も亦之に作つて變化

軍の選撃は選々 た 放聯選の後北上の機會に乗 に 立聯選の後北上の機會に乗 の朝野に向つて大亜調重主 を変を宣傳したのでありまし た。今尚記憶して居ります。それ 本に取り北上するに當り、 本に取り北上するに當り、 を別に臨る郷先生は私に「今 度日本に行つて若しも日本 の態解を得て中日露の聯合 の態解を得て中日露の聯合 ことは當時孫先生は途を日

芬罗 実、歩兵三個大隊を潰滅し 関軍の戦車二十豪以上を破 関軍の戦車二十豪以上を破 でソランド 不安昻るの

が、十一日のニュ が、十一日のニュ が、十一日のニュ が、十一日のニュ が、十一日のニュ る、モスクワの市民は電車 する不安が漸次増大してゐ する不安が漸次増大してゐ り勝フインランド戦争に對

では、「一般」では、「一般」では、「一般」である。「一般」では、「他の、「他の意味」では、「他の。」では、「他の。」では、「他の。」では、「他の。」では、「他の。」では、「他の。」」では、「他の。」では、「他の。」では、「他の。」では、「他の。」では、「他の。

TER校中 MCC、ENTY COM

日合作であつて申日合作を十三年に重視されたのも中

とが出来ると考へられたのとが出来るとあることが出来、

義があり、中日第三國は初基礎として然る後聯議の意

商况金品 各地株式市况

品いるいる取揃へて居ります

御正月用吳服 付き 賣 出

八五六番

商聯加盟店 金 新京東一條通り一四 電話③二九五二番

河内(一、八八〇)

標語當選發表

つて今年度(明年三月+ 財務き斯かる好出炭威語 山を見たので十二月以降 山を見たので十二月以降 山を見たので十二月以降 はま力二萬人の

を收め得る見透しがついたとかめ得る見透しがついたとつて今年度(明年三月まで)を通じての出炭は計畫で、大十六%)即ち七百萬處巖八十六%)即ち七百萬處巖八十六%)即ち七百萬處巖元現が激烈されば年度に對

*

本産企工門上 政府は去本産企工 上事務指書者を招乗、経政正係令を公布明年一月一日より實施して産金蒐集の徹底を期すること」なつたが、中銀においては全済が、中銀線行より長谷川と事務擔當者を招集、經濟企工 大月同副兩課長出席し世一日午前十時半より機以正に関する打合會を開発した。

| 上版| 末後| 水色| 水色| 水色| 水色| 大阪| 木松| 大阪| 木松| では を 説 を 認 を 認 で は 歳 未 犯 を 認 で と 認 で は 歳 未 犯 が 上 に 全 が を 設 置 する 一 方 谷 口 司 法 、 安 井 特 務 両 科 長 の 指 郷 下 に わ た り 水 も 欄 ら さ ぬ 繊 桶 ら さ ぬ 繊 桶

在三河川敷地に交通、經濟兩部では 施行に伴ひ舊河川敷地の處分に牌 を通、經濟兩部では 高遺憾なきを期され 一、河川法施行前に 一、河川法施行前に

*(日 曜 土)

機調印を乗れて第一回準備 飛行を行つた三菱双菱輸送 飛行を行つた三菱双菱輸送 展に大日本航空會社歐正課 長に大日本航空會社歐正課 最高十二人である 等第一日(廿三日)東京、二五〇 本度ので継勢十二人である 本度ので継勢十二人である

時局下に於ける品不足に伴 中には思惑関係や其の他の 中には思惑関係や其の他の 関瘤をなし、消費者に尠か 504不便を興へて居る事實 が二、三に止まらぬため綿

多数陽底し悲しみのうちに も廃穴に執行された、社前 から葬儀場一杯に立ち並ぶ 数百の花環は故人生前の功 数百の花環は故人生前の功 でするめられ同三時半 四日午前九時三十分新京設 はとで大連に向ふ

昭和

五年度發素

満炭の出炭ウ 計畫の九十%確實

柳聯で斷乎配給停止

の雨日同所で賣出 と来る二十五日と を来る二十五日と

特產物專管

松竹梅盆栽

一回作品

中では 一日まで滞在、一日まで各 一日まで滞在、一日まで各 一日まで滞在、一日まで各 一日まで滞在、一月十一日まで各 一日まで滞在、一月十一日まで各 一日まで滞在、一月一日まで各 一日まで滞在、一月一日まで各 一日まで滞在十日家域。 一日まで滞在十日家域。 次で 本日体

込吹ドーコレグンキ うせまり送で歌のとは巻入

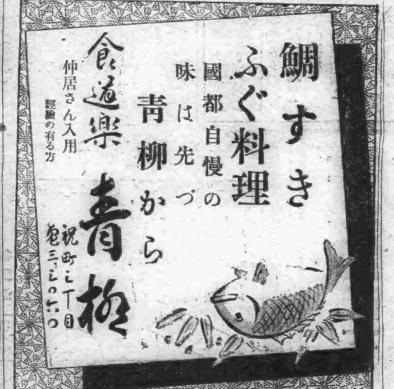
勞働狀態調查

極寒地帶



江口夜詩歸社第一





宇治素と世帶道具の店河 電人 人商店

主婦之友花嫁講座(職生) 門お作 佐田原

はの大賣の大賣の大賣の大賣の大賣の大賣の大賣の大賣の

一日物決面自大記を統が 方の

事 並諸 生 水 営業工 新京特別市清明街二口六号地新京鉄道北高砂町八丁目四番地 電話電話 (2) (3) 32 7 場

丁事火氣般 賣 作 及 用 材 料 料 料 料 並煉配建



B

使節として防共の友邦イタ 一定氏が同葉、民間初の空の 三氏が同葉、民間初の空の 三氏が同葉、民間初の空の 三氏が同葉、民間初の空の 三氏が同葉、民間初の空の 飛行を行び更にパンコッカ る廿三日羽田發第二回準備を前に大日本航空會社は変

大日(廿八日)カラチジンディッシ上空通過) 一、エカ〇キロ)バクダット(二、エカ〇キロ)バクダット(二、1十日)バクダット(二、1十日)ロード (一、五九〇キロ)ドクダー (二十日)ロード (二十日)ロード (二十日)ロード (二十日)ロード (二十日)ロード (二十日)ロード (二十日)ロード (二十日)ロード (二十日)ロード (二十日)カラチジンディッシ上空通過)

綿製品 買

日本にあ は 何 か

表面の大古には栗や素は、なかつたから栗餅や紫餅はなったとしても、今日云かかったがら栗餅や紫餅はなかった皆である、それではなかった皆である、それではなかった皆である、それではないところの欄で拵へた餅はなかった皆である。それでは見そ何時頃かと云ふと、どうも

来で供と化し、その供が響 くの間に芋と化したとある くの間に芋と化したとある くの間に芋と化したとある が解析が、それとも今のや うな糯の餅であつたか明確 でない、全體教園で併をモ を見ると呼ばれてもるが、餘世の辞書 を見ると呼ばれてもるが、餘世の辞書 と云はれてもるが、餘世の辞書 とこばれてもるが、餘り信 その點が 判然して ところでは景行天皇が窓 名手といふ者を懸前國に遺 名手といふ者を懸前國に遺 とし同人が仲津郡中臣村に宿つ た時に白鳥が北から飛んで

本年度 最初の試合は本年度 最初の試合は一月三月廿六日牡丹、白山兩公園内で行はれた「第一回園内で行はれた「第一回園内で行はれた「第一回園内で行はれた「明窓マラソン」でこの一年間を終ってある、さて新京市民はこの一年間陸上界の進路をしたの機勢を起さしめた原は私を一年前に置きか、私は私を一年前に置きか、では残酷を見てみよう、新京の立派な指導者諸と、新京の立派な指導者諸と、

芬 燕 季

甲恩醫

券 員 會

主催

中三、山寰、泰金 夏鼓ケッニ。井

滿

新

善

依り開催することとなつた、富日は今日本に於て人氣の絕頂にある李香闌がかけてゐるが本社では更にこれ等の細民に同情資金をおくり樂しい正月を迎せうと市公署、社會事業聯合會では例年の如く全市に同情袋を配布して呼び歳の瀾を控へて罄寒と飢餓線に彷徨する劇民に溫かい同情の手を差しのべま

京

京

洲

H

京無線

一競技の

第人的 スポーツであるのだ、スポーツであるのだ、スポーツであるのだ、スポーツの大 目的を萬人が平易に、場面に最もよい状態が以上 たのだつた、新京市民はこの如く新京に與へられて居 たのだつた、新京市民はこの平易なスポーツを一上の國際規約などによつて上の國際規約などによって、 といいのであるなスポーツを一上の國際規約などによって見たくなった。 といいのではなくス は といいのでは といい です、例へば神経痛やリュです、例へば神経痛やリュです、例へば神経痛やリュウマチその他一般の冷え性に効くのです、なほ家庭で出来る薬湯には衝戦の鎖泉震撃としてはヒバ(大根の族列としてはヒバ(大根の族列としてはヒバ(大根の族列)

を説ふなりと記してある、を記ふなりと記してある、三月の理由もこれで判る、三月の理由もこれで判る、三月の場所のある。 がぎり、大を得たっ 方合と

カげて見よう も、記憶に残るそれら

市民と共に日務業競技會を南嶺のグランドに荒技會を南嶺のグランドに荒 柚子湯の藥効

冬至粥の作

石の様

サ六日は多至です、そこで もう、多至にユズ湯を立て るのはいつ頃からの風習か 知りませんがこれを科學的 に見れば悪い多を迎へて確 いにユズ湯は温まります、 それは單純な水よりもユズ の中に含まれてゐる有効成 の中に含まれてゐる有効成 の中に含まれてゐる有効成 の中に含まれてゐる有効成 の中に含まれてゐる有効成 の中に含まれてゐる有効成 の中に含まれてゐる有効成 の中に含まれてゐる有効成 の行事を

大港船の大港船の 番組

が京なる。 新京なる。 新京なる。 新京なる。 新京なる。 新京なる。 新京なる。 新京なる。 新京なる。 第一日

新京)

イオリンハイフエッツ、イオリンハイフエッツ、イオリンハイフエッツ、九九、三〇(東・東京) 經濟市況九、三〇(大連)經濟市況九、三〇(大連)經濟市況九、三〇(大連)經濟市況九、三〇(哈爾濱)如兒の時間「對話と歌」哈爾濱市況上、四五(哈爾濱)如兒の時間、座談會「經濟市況」哈爾濱(哈爾濱)家庭の自名員
「大阪の自名員」をの自名員
「大阪の自名員」を設定している。 ロンドン交響管数・アーテ作曲)ヴァーテ作曲)ヴァ

立 五〇(哈爾濱)料理献



高島易所所

そ千金の價値川 高島の活飾と 其病姓家 知過運 他氣名相性業勢



鑑定は信用のあ 確なる運命

運勢

関象通報 (1)ニュース (東東・新)ニュース 次番/鮮語」 ・ニロ(挙天)ニュー 名錄音 ロッシーに曲

かいない ブレスト アダーデオ 別美術アバム人 ミユゼット トスカニー)指揮 2枚一組 アルバム入 ¥5.50

原料香水オリヂナル本舗 盤安藤井筒

へ、00 (大連) 中等満洲 ・ 下奏部と狂想的回旋 ・ 下奏部と狂想的回旋 ・ 下奏部と狂想的回旋 〇、三〇(東・新)ニュース コード)越後獅子・・ 時間(露部)

農家の秋

おは良り

ぎ、ヒゲ刺り後の整満 と白くし、日ヤケを防 を白くし、日ヤケを防 を白くし、日ヤケを防

代は、しつかりしなければと身の引きしまる思ひがしたのであつた、松浦の家をたのであつた、投音の許ら、であるとなくく思ふ、どこからともなく「なのり」であつた、お演はお千にかっしかそれに和した、千古が入除した翌日突然弟のの話では千吉からひで、刈入れいのである、そして漫音されたのである、そして漫音されたのである、そして漫音されたのである、そして漫音された。 靜江

F

を配るのは率行である。 を配るのは率行である。 か附けられた事を嫌かるぬ様に が附けられた事を嫌でも イと受けるのは率行である。 た事のあるのを、Nさん は何時でもハイと云つた。 がはすぐ苦しい思ひで吐ればすぐ苦しい思ひで吐ればすぐ苦しい思ひで吐ればって見ませんか」と云ったのであります。食

香油

を はいきの夕卓に温い昆布 で は は は がら 無がさぬやらにカリン で は がら 無がさぬやらにカリン がら 無がさぬやらにカリン がら 無がさぬやらにカリン がら は で なきます、 鍋に 水を 二合 を 器に とり、 片 栗 粉を ないた 布 は で よきます、 銀に 水を 二合 立 から前の 白髪 足 布を入れてよくかきまぜ ます、 鍋に 水を 二合 立 から前の 白髪 ます、 鍋に 水を 二合 立 から前の なが 料を 少し 宛 入れ ながら

煮て前の角するとんを五切 充りしてその上にのせ、 煮汁をかけ、少量の粉サン

好都合 の事情にあつた後等になされたものだつ

た、そしてスポーツ陸上もこのに少しの誤りもなかつた。また立派なスポーツのだ。また立派なスポーツのだ。また立派なスポーツのだ。また立派なスポーツを上も

はヘッたたもつ

ちとしたのだ、これである 新京に陸上熱が盛んになつ て来たのだつた、そしてこ の一年間数々の競技會が多 くの競技者によつて登々盛

を 日全國的に小豆とかぼちや は使用出來ます、またこの は使用出來ます、またこの は使用出來ます。またこの は使用出來ます。

技者の中から選び出され

た競

五等分してそのと

角する

て、うらごしにかけて、 に入れ煮出汁大合を加へて よくかきまぜ、火にかけて 木柄杓でかきまはしながら よく煮とかします、前のネ

於顯西廣場俱樂部

會

祉

12月27日午後七時二回

ログラム

公

聞

0

そこを稍

タトル氏」その他を配し多彩なプログラムを展別することになつてラクションにコロムビヤバンドを配し、最近國都で上映し名畫の誇日劇そのまゝの舞蚤姿で『白劇の歌』をうたひ拔くこととなつて居

かつた「不思議など

九、三九(東・新)時報、ニュース、ニュース、ニュース解説、 京)歌語物語 明 パリー製に優る 國産最高基準品 円頂

割水ぬ、 門頂を一

(st. (

同件 で下ちい **一**5ぬ

品質數值式除水系集金 ノもに業整の方人結復 栄の

> 性狀は て皮膚に入り肌の

榮養。漂白及美化の効を 之を使用する際快く溶け 全くする點にあります。

趣味 **美白・漂白剤を原料と** 最良の皮膚祭養 も香氣を附してあります 嗜好に適せる優雅爽快な 料で萬人の 技術に依り製造せる整備

學 學 學

皮膚に栄養を與へ E 康 伙

近代化粧料

を發揮する

美 美

の粹を集めて

ち。 これは小松氏 であると言へよ

同のに『作文』の青木賞と、 目向伸夫とがある。青木は 連作「北邊」に於いて農事 合作社の事業を中心にたん ももな被の調べた整備を作 ころ、この方向に傾注して あるのは問題とされるべき であらう。日向伸夫は「轉 を活第八號」で滿人社會 であらう。日前伸夫は「轉 を を であらう。日前伸夫は「轉

外の際はかなりのスピードであつた、靴の音の他に下した。大変立つてあなことが強想された。「さらです。何か?……」なはその言葉の了らないうちにドアーを閉けて仕舞った。したした。お兄いさんが来でした。お兄いさんが来でした。お兄いさんが来でした。お兄いさんが来でした。お兄いさんが来でした。お兄いさんが来でした。お兄いさんが来でした。お兄いさんが来でした。お兄いさんが来でした。お兄いさんが来でした。お兄いさんが来でした。お兄いさんが来でした。お兄いさんが来でした。

サーフでは女で又、男の言葉にい、女は女で又、男の言葉にりである。「勘定つてものは延びるとりでしたしたやうな始末で……」なは思はず笑ひ出して仕私は思はず笑ひ出して仕る。二人の者は、崖に

その具體的な現はれは、 第一には各新聞、雑誌が数 第一には各新聞、雑誌が数 大きであった。大には各同 人雑誌がそれらくにその同 大変』の各輯、殊にその同 が部厚い「斷層」の最近號な とが日本人の側では『藝文志』 り、滿人側では『藝文志』 した、また奉天では『交選』

を講出本人の生活に鋭い探を講いた「帽薄文化草紙」 (『作文』)「秋」へ『満 的なものであつた。北村謙 的なものであつた。北村謙 的なものであつた。北村謙 の緊密な結びつきの上に描 き上げて行つた。連作「或 き上げて行つた。連作「或

蓬莱町-丁目電話の3180

「河さんのお宅はこちらで

(日 曜 土)

創作活動の

世盛化を慶

滿洲文學本年の回顧こ

けた時、彼は愛執の炎 、暗い道に立つて、仄 の流れ出るその窓を

実然(他の若い男と遊んで歩いて居る)と言ふ敬子の言つた言葉が刺すやうに 鋭く頭の中に浮び上つた。 いしを言つて……。 かしを言つて……。 かしを言つて……。 かしを言つて……。 かしを言つて……。 か

たった言葉が刺すやうに な音が立つと、音もなく屋 かけと起き上りなが が開いた。 が開いた。 な音が立つと、音もなく屋 を言つて……。 の音がする。 の音がする。 の音がする。 が開いた。 かっとして。後は頭から合す。 でつて、この不意の個人者を でんだ。 かんた。 かんた。 かんた。 かんだっと をついた。 をついた。 をついた。 と記が出た。 かんな事を言つて、他に 手をあてょ、せいく と息 たんだ。 かんな事を言つて、他に 手をあてょ、せいく と息 たんだ。 かんだ。 かんだっと をついた。 かんだっと をついた。 かんだっと をついた。 かんだっと をついた。 かんだっと をついた。 かんだっと をついた。 をついたが、後 と思が出た。 をついた。 をしいた。 をしいまが、 をついた。 をしいまが、 をついた。 をついた。 をしいまが、 をついた。 をついた。 をしいまが、 をついた。 をしいまが、 をついた。 をしいまが、 をしいまが、 をついた。 をしいまが、 をついた。 をしいまが、 をついまが、 をついた。 をしいまが、 をついた。 をしいまが、 をついた。 をしいまが、 をしいまが、 をついた。 をしいまが、 をしいまが、 をしいまが、 をしいまが、 をついまが、 をついた。 をしいまが、 をついた。 をしいまが、 をついた。 をしいまが、 をしいまが、 をついまが、 をしいまが、 は、思はず口を抑へなが、 を言って、跳れおきた美術 た秋本の手を、夢中でふり では、思はず口を抑へなが、 ち、張りさける程限を見張

では、彼女は臨下を、いきなり階段にかけ下りて、あたりを見廻すと、そのまかした。なかした。なかした。なかした。ながした。ながした。ながした。ながした。ながらない。 「ゆるして、ゆるして…」、「ゆるして、屋されたやうした。」 はやうとしてベットの下に はかつた。 出なかっと と愕きの飲り、壁も ~ ts とあきと

は は で 決つたことはないのですが として としない であると さら思つてみた。しかし を さら思つてみた。しかし を で 決つたことはないのである。

「自分はそれでもいいだら 要は顔りとそれを繰返し であるやらに思はれた。」 . .

一十日ほど棚つてから要は であるい。 はならない。 はならない。

ならば、先づ吉野治夫は、 個々の作家について言ふ

ところが不思議さ。厄介を も惚れて一つの家を持つた 者も、喧嘩して別れ くに なつだ者も奇妙に肥つて行 なつだ者も奇妙に肥つて行 れた者も一緒に大きくなる れた者も一緒に大きくなる

その私共で立替えた分の二十三圓五十五銭、ざつと二十四圓ですかな、こちらに來たついでに頂戴しで置いたらと思つて、小早くからお伺ひしたやうな大第でし

変の顔は明るかつた。要 であんたの病気、死ないければ症らないわね。」 私は高々と笑つた。眠つ なじで仕方ないぢやな なじで仕方ないぢやな な前が私と結婚したの な前が私と結婚したの

・ すで慢性胃カル ・ 大下順性質が ・ 大下順便性胃カル ・ 大下順便性胃カル ・ 大下順便性胃カル しても治らなど、 又は食後か容腹時に胃痛を伴ふ人。胃臓過多症で慢性的に酸つばい液の出る人、胃臓過多症で慢性的に酸つばい液の出る人、 タルは胃弱、胃下垂、胃臓器と

田

適です して健康便は

北京に引揚げ

の 『北京に引揚げることに決った。私から親いて毛とに決った。」 なほ、黒い襟の女が光枝であつた。気が付いたときにはその女は何處かへ行つて仕舞つた。借家人は醉拂ひだ

たのも、此のキズやダマレが治らなた原因であつて、胃腸病が一度コチー大原因であつて、胃腸病が一度コチールのといいでは、治らないといいでは、

の八九まで胃か腸の粘膜にキズ 慢性的に胃腸の悪い人は、十中

かタッレがてきてわます。

罪が誰にあらうとも観れて ある。北京に行つたら、今 のこの職れた生活が恢復で きるであららか。私は考へ ないことはなかつた。しか ない限り、テテハルを北京 に置き換へてみるだけのも のにしかならない。私のと での話りの考へはこれであ

特長とは?

今までの胃腸薬とちがひ やまでの胃腸薬とちがひ

からです。

胃腸が活潑に が活泼になるのは、胃臓などの消退が か活泼になるのは、胃臓などの消退が を吸收して胃腸内部を清掃するのが新しい特長です。健康粘膜に回復させ、さらに胃腸内の有毒素と腐敗腫 粘膜に回復させ、さらに胃腸内の有毒素と腐敗腰齢物をなったがないないない。ちゃうど創薬のやうに被覆治療してキズとタッレを、ちゃうど創薬のやうに被覆治療して しぶり腹などの消退が早いばかりか、 トモサンを服用すると、

たな症状の方に 且つ胃腸内部が清が 胸やけ、 胃腸のはたらき

清 かしだんと、笑つた。したれたやらな忌々しさが慎りまれたやらな忌々しさが慎りとなつてきたからだつた。 野良犬に噛まって言つてたんですね。 おおりません。 あなた方ましされてからなるのである妹なんか 名方面でさかんに 当見用されてるる 新心胃腸薬! ま不とちかい

胃が痛む、胃が重ぐるしい、胃 胸やけがする、 **岡陽病の原因は**? 酸い液が出る

或は下痢、しぶり腹、雷鳴など がデャブと鳴る、腹が張る。 がつぶくといふやうに、絶えず

羽羊眼科

惠三四二五五五

素。 寒



€後リリゲヒ にめ止れ荒 に下粧化お に後浴入・顔洗

店商源近 社會式株 京東。舖本

谷健夫、大脇一雄、 島春子、福家富士夫、 島春子、福家富士夫、 是、木崎龍、石森延

て可の

て、《私は眠つたふりをして、《私は眠つたふりをして、後女は、彼の水

だりくしとベットの端に 近づいて行つた後は、全く 白痴のやうに口を閉けて彼 女の唇を、清かな頬を、柔 かな耳たぶを、観れた髪を 一心に見つめた、凡ての事 が、そして理性すらも全く 圏になつてゐた。

長谷川海についても屢々 東書いて來たから省略させて り 質はち。そのほか短篇の町 原幸二、塞作ではあつたが 今村榮治、新人の筒井峻一 以上は積極面だけを書いたが、私から見て缺乏感を をぜしめた點、もつと要望 したい點などもあつた。思 想の缺乏、知性の不足など 然にさらであつたと思ふ。 だがこれらの點については がの機會にすでに書いた。 粗雑だが日米の創作につぶる。大に満いては以上で終り、大に満れては以上で終り、大に満ていて書く

るか。」 もなは、はつきり言つてや でやがて出て行つた。 は替くしてのちにお隣 りの黒い襟の女の家を尋ね た。女はゐなかつた。古新 に、女はゐなかつた。古新 はが量の上に大場をとつて かったれてる

T. 1043

ろことるあの鏡 りあるのうず必

(日 塩 土)

治

河久商店

涛髙

酒報

熊

新京 櫻屋商店

CO



抗菌力をも

食慾消化力の

叉强盛

消退して機能を健全に補正し

嘔吐等の諸症状も

氣

分を常に明朝

12

質慾減退に 疲勞恢復に

戦地への 手紙に同封される 慰問袋や

后 密 吉 友 澤 滕 社會式棒



るくつを鵬胃の型策国

痛、下痢、嘔吐なざ、不快な症狀百出はその證左だ!

へるのも當然、食後々々の胸やけ、

噯氣、悪心、

消化は鈍り、

胃・吸・収は衰

■ TEVER THE THE TEN THE TEN

便秘、嘔吐、消化不良、食慾不振等の諸症狀をも消退して機能の恢復を沸騰汎な病源治療を誉み、併せて、胸やけ、噯氣、惡心、胃痛、腹痛、下痢 能の異常を整へると共に、鵬管内の有毒物質を吸着して體外に排出する等 総部に沈着して炎症を癒やし、粘膜を張め、弛緩を引緊め、分泌や蠕動機治療薬アイフには病源、對症二重に働く作用があり、主薬が胃腸内壁の症 國策型の胃膓をつくります。 大阪市東區清水谷四之町

前からも銃後國民刻下の責務であらればなられ。

機能を用意することが健康防衛の上からも、國策即應の立國策的な胃腸は一日も早く治療補正して、健全旺盛な消化

の常食ごあつては、この苦患いよく一重る一方!こんな非

ましてこの先、白米より消化率の悪い半揚米、七分揚米

不養生に傷つき爛れた胃腸の内壁、 米禁止令まで實施して、 を毎日々々無駄に捨ていゐるも いのは事實だ。何もろ長い間の無理不攝生、知らずくの るるわけではないが、胃腸障害のある者ほごその無駄が多 食糧確保に躍起の今日、 もちろん、健康人だこて攝取食量の全部を荣養化させて 節米だ!代用食だ! 慢性の胃腸病者がそれだ!! この大切な米 戦時下の國民 があ と自



懇談會を

やめて

國防費に献金

を集に

慰問が切々たる追慕記

一残す訓

産

大変ならびに部 を選列を偲び な過過数を偲び な過過数を偲び な過過数を偲び な過過数を偲び な過過数を偲び な過過数を偲び な過過数を偲び ないたが、 ないが、 ない

と君糧の共部昭赫以在隆 徹はり歳に膝和で來港長 の・合を死に十あ影君佐 たモーな夢と野

弘濟會從業員の

「要素所従来」へ関の目令を表示に催せ、工具子経験をの費用」は東軍を通りをの費用。

機を了した 機変了した 機変了した 機変了した

本 新京白米講人事務局統制下 の新京吉 林剛市及び 松花 は身命を賭して赤魔と戦ふ 日満兩軍勝兵に感謝の議を 排げるためかねて慰問金を 事集中であつたが、この程 五百餘圏となつたのでこの

目主的立場から銓衡

早生店局に間(使、補出國 ・ 選遣された總務屋谷次長は ・ 機器事官、崔協和會参製外 ・ 一名を帮同して廿二日午後 ・ 一名を帮同して廿二日午後

經區町會拒否

自都本部の推薦を

一普及に乗り出した、機は手 がリプスレーが出現、数日 ボップスレーが出現、数日 ボップスレーが出現、数日 ボップスレーが出現、数日 ボップスレーが出現、数日

た日小に手

がなく遠に一時間だけのしてこの便宜を置りたい

薦列車で單身滞任する 強安部新警務可長谷ロ明三

事務員募集

司長けふ着任

を を しに居りますが、美 を しに居りますが、美 を りましたので別に慰 ではあ を りましたので別に慰

一、特別市永昌路重要商街地一、村別市永昌路重要商街地一、本月二十三日廿四日二日間一、本月二十三日廿四日二日間

安達街櫻ホテル内

韓

雲

大に執行された。西田氏計

後二時から同社講堂に於州電々理事故西田猪之種

(可認物更多強計第)

町會役員選出に意外 な對立

一行は元氣で毎日頑張っ である、會議の前途は未 だ樂觀を許さないが、聯 付の日滿兩國の代表に野 する歌待は實に至れり遊 する歌待は實に至れり遊 が、特にソ際側が熱 れるもの、又ナンセンス等でとんだ濡れ場を押へ 的の検索に満人風呂、旅 り検問した、此の連續拔

檢 ら館

よると

鈴熊代表から初便

側の数待至れり盡せり

至であるこの日本

一中央観象豪では ・中央観象豪では ・中央観象豪では

日満連絡機で 耐機で入京した 工二日午後五時半の 正にある松島瑞典公 典公使

政府は國民の貯蓄を奨励し 市高寮金の統制連用を圖る ため中銀内に貯金部法をの値關係 法令は一括して廿一日國務 院會議に於て可決を見たの で近く豪觀府會議の諮詢を 經て明年一月一日より實施 される事となつた、即ち貯 される事となつた、即ち貯 される事となった。即ち貯 を部資金は經濟部大臣の管

兼ねる

別金部愈よ開設

月から

獎勵へ郵貯利上も断行







會第五部 民生活調整へ 經濟活動積

世代 となったが、町舎側に自己 で来たき首都本部より推薦となったが、町舎 はに基き首都本部より推薦を全町を入り、 いいのでは、 いいのでは

十二月中旬頃にかけて前後 本署に引致取調べた結果同 人は本年十一月下旬頃から

四回に亘り永昌路滿鮮日報 本(八百團)を領取五馬路 古物商に賣り飛ばしてゐた 事が判断した

自主に對する

ウとして再認識され、來

新京にも プスレー

ボ 7

双方見解の對

成り行き注目さる

マークとして再認識され、來年の神宮戴技に「國防敷技」 として登場する等スキーの をして登場する等スキーの 意の間に對する認識と體位 向上の建前からその第一歩 として見玉公園内にポップ として見玉公園内にポップ

4条の大型問題を開発した。

會議堂に於て皆川委員長以等貨職係)は廿二日午後二 (國民生活の向上に 關係者三十四名出席の に開催、皆川委員長の挟

開けなかつた。常は搭乗に際し縛幣が 蓬莱町一丁目電話③3180

、價格の統制

金安 安 平

六

『現在の満洲を凝観し明心配の餘り靜養を奨めて

消費組

多少に拘らず配達致します 新京唯一「松竹梅」登場 吉野町二丁目

話

七二

婦人記者を求む 三十二、三才迄の 新京の土地に明るき方 新京の土地に明るき方 高側を閉の方は木月二十一日迄自業優歴書御技会 浅野水道工業株式會社 湯 新 京 出 張 所 月刊満洲洲社 *司

古タイヤ在庫品豊富

乘用車

乗用 車用

便利!

お茶で茶道具の店 松竹梅。生花大賣出 かどり茶園

社會名合造類洲滿京新